

令和5年5月15日

教員各位

副総長（研究担当） 門松 健治
副総長（図書館担当） 佐久間 淳一

論文のオープンアクセス化に伴う掲載料調査への協力について（依頼）

昨年度は、標記調査にご協力いただきありがとうございました。

今年度も引き続き、論文のオープンアクセス化に伴う掲載料調査を実施しますので、下記の通り、ご協力をよろしくお願いいたします。

今後の電子ジャーナル契約やオープンアクセス推進の方策を検討するため、APC※の実態を把握することが重要となります。昨年度の調査では、APCと記載されていないが、APCと見受けられる例が3割程度ありました。APCの実態をより正確に把握するため、ご協力願います。

※ APC（Article Processing Charge）…著者が出版社サイト等で論文をオープンアクセスにするため出版社へ支払う手数料

記

APCを含む論文掲載料を財務会計システムに入力する際、品名の冒頭に「APC：(雑誌名)」と入力してください。（入力例） APC：Nature Communications

次の1～3が該当します。

1. オープンアクセスジャーナル（出版社や学会のサイトから無料で公開される雑誌）に APC あるいは APC を含む論文掲載料を支払う場合
2. 購読型電子ジャーナルのオープンアクセス・オプションを選んで、APC あるいは APC を含む論文掲載料を支払う場合
3. その他、論文をオープンアクセスにする費用が含まれる経費を支払う場合

<参考>

- (1) 我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu29/001/mext_00650.html

- (2) 名古屋大学オープンアクセスポリシーについて <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/index.html>

APC割引等の情報も紹介しています。投稿に際してジャーナルの質についてはご自身で判断をお願いします。

- (3) 学術誌をアカデミアの手に取り戻す <https://www.nii.ac.jp/today/82/4.html>

<本件問合せ先>

附属図書館情報管理課電子リソースグループ 端場, 大平

Mail: ir-admin@nul.nagoya-u.ac.jp TEL: 052-789-3686